

## 特集「情報教育～理論・評価・発展～」の 編集にあたって

中 森 眞 理 雄<sup>†1</sup>

3年前から継続している、「情報」教育に関する4回目の特集「情報教育～理論・評価・発展～」を組ませていただいた。対象は、情報教育の情報科学・工学的・教育学的見地からの抽象・設計・評価、初等中等高等教育・企業教育などの情報教育における目標・方法論・理論・実践例・評価とその手法、情報教育教材、各種教育支援ツール、e-Learning, CMS, LMS, 情報教育の評価手法などに関するものとし、範囲を広くして、論文を募集した。

投稿された論文は、対象は学校（初等・中等・高等）教育から企業内教育まで多岐にわたり、内容は、情報科学の観点から教育の方法を論ずるもの、教育学の観点から情報科学・情報技術の教育方法を論ずるもの、「情報」教育のカリキュラム・教材・システム環境を論ずるもの、広範囲の教育の情報化を論ずるもの、教育行政の理念を論ずるもの、個別事例や実践例を報告するもの、情報教育に関する研究動向の調査など、多彩であった。

投稿論文数は19編あり、採録された論文は2編であった。採択率は約10%である。投稿数・採録数・採択率いずれも減少してしまった。不採択となった論文全般にいえることとして、サーベイや評価の不十分さ、信頼できる根拠や議論の進め方の不明確さなどがあるが、口頭発表と論文誌の違いが十分に理解されていないことも大きい。しかし、不採択論文にも興味深いテーマが多かったため、完成度を高めて再度投稿されることが期待される。

採録された論文は、「大学生のITスキル」、「家庭における情報システム」に分けた。大学生のITスキルの論文1編は、一見、調査報告であるが、単なる調査ではなく、論文としての観点が明確な、充実した内容である。家庭における情報システムの論文1編は、家庭における非アクティブなコンピュータユーザの心理モデルを導出し、それに基づいて、利用を活性化するための考察を行っている。

最後に、本特集号を出版する上でご協力いただいた編集委員、タイトなスケジュールの中

で丁寧にも公平に査読をしていただいた匿名の査読者、スケジュール管理をはじめ適切な支援をしていただいた学会担当者の方々に感謝の意を表します。

「情報教育～理論・評価・発展～」特集号編集委員会

- 編集長  
中森眞理雄（東京農工大学）
- 幹事  
西田知博（大阪学院大学）
- 編集委員（五十音順）  
大即洋子（清和大学）、角田博保（電気通信大学）、加藤直樹（東京学芸大学）、金子敬一（東京農工大学）、兼宗 進（大阪電気通信大学）、神沼靖子（本学会フェロー）、川合 慧（放送大学）、末代誠仁（東京農工大学）、高岡詠子（上智大学）、立田ルミ（獨協大学）、田村弘昭（篠田プラズマ）、中西通雄（大阪工業大学）、中野由章（千里金蘭大学）、西田知博（大阪学院大学）、櫛山淳雄（東京学芸大学）、坂東和宏（イーテキスト研究所）、平賀瑠美（筑波技術大学）、松浦敏雄（大阪市立大学）、山之上卓（鹿児島大学）、渡辺博芳（帝京大学）

<sup>†1</sup> 東京農工大学